

授業改善書

科目名	心理実践職能論
担当者	小玉 正博

授業の概要

本講義は、臨床心理士やカウンセラー、公認心理師など、心理専門職者が行う心理的サービスとはどのようなものであるかについて理解することを目標に講義を行った。具体的には、心理専門職者の役割と義務、職業倫理、サービス受領者の安心安全の確保、インフォームド・コンセントなどの他、専門家として求められる基本的資質や態度についても関係資料の解説や討論などを行いながら、より実践的に心理専門職者の心理的サービスのあり方について理解できるように講義を進めた。特に、医療領域、教育領域、福祉領域、司法領域、産業領域の5領域にわたり、どのような役割と義務、法的責任があるかなど、可能な限り受講者にイメージできるように、映像資料や法律、仮想事例などを織り交ぜながら、討論できるように工夫を行った。

授業の問題点

上記のように、学生にとって実践領域について具体的にイメージ化して理解することはかなり難しい課題である。そのために、もっと主体的に課題に取り組むような仕掛けが求められる。

学生の授業満足度

学生のアンケート結果を見ると、自身の課題に対する取り組み以外の評価を見ると、4.84という高い授業評価と満足度が得られている。この高い評価は授業を行う者にとって大きな励みになる。今後とも、学生の授業満足度を達成できるように努力したい。

授業改善の課題と方策

上記の通り、実践的科目ということで、受講者が具体的な心理職者の仕事や役割などについてイメージしにくいところがあるので、その点を考慮して授業を展開していきたい。内容によるが、もっと討論課題を取り入れて、主体的な問題意識を涵養し、その方向を自ら見いだすような授業を心がけたい。

その他

特になし。